



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 大日本印刷株式会社
 コード番号 7912 URL <http://www.dnp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 北島 義俊
 (氏名) 神戸 好夫

TEL 03-5225-8220

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	352,949	△4.7	2,556	△65.6	3,807	△65.6	△4,211	—
24年3月期第1四半期	370,309	△6.5	7,427	△65.5	11,067	△51.0	4,374	△50.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △3,210百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 6,944百万円 (429.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.54	—
24年3月期第1四半期	6.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,571,701	—	900,832	—	—	54.5
24年3月期	1,608,806	—	914,213	—	—	54.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 856,940百万円 24年3月期 871,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,580,000	4.8	48,000	41.1	47,000	27.6	17,500	—	27.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	700,480,693 株	24年3月期	700,480,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	56,418,816 株	24年3月期	56,417,765 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	644,061,498 株	24年3月期1Q	644,139,284 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場の動向などを前提として作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などの内需が牽引して緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れや円高の長期化に加え、国内の電力安定供給への懸念もあり、引き続き厳しい状況にありました。

印刷業界においても、需要の低迷に加え、競争激化による受注単価の下落、原材料価格の値上がりなどにより、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、DNPグループ(以下DNP)は、事業ビジョンである「P&Iソリューション」に基づき、積極的な営業活動を展開して、顧客ニーズに対応した製品、サービス及びソリューションの提供に努めました。特に、生活者の視点に立って的確な課題解決を実現する“事業創造型”の研究開発と、環境、エネルギー、教育などの社会の諸問題を解決する“ソーシャルビジネス”の推進に力を入れるとともに、高い成長が期待されるアジア地域を中心に、グローバルな事業展開にも取り組んでいます。また、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制の確立を目指す「モノづくり21活動」も引き続き推進し、業績の確保に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は3,529億円(前年同期比4.7%減)、連結営業利益は25億円(前年同期比65.6%減)、連結経常利益は38億円(前年同期比65.6%減)、連結四半期純損失は42億円(前年同期は43億円の純利益)となりました。

部門別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、雑誌は減少したものの、一貫製造ラインの増強が寄与して書籍が増加し、前年を上回りました。

商業印刷関連は、積極的な営業活動によりチラシ、カタログ、POPなどが増加し、前年を上回りました。

ビジネスフォーム関連は、通信系や電子マネー向けのICカードなどが好調に推移しましたが、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIPS(Information Processing Services)が減少し、前年を下回りました。

教育・出版流通事業は、図書館向け書籍の販売などが堅調に推移し、前年を上回りました。

その結果、部門全体の売上高は1,775億円(前年同期比2.9%増)、営業利益は37億円(前年同期比107.8%増)となりました。

・生活・産業部門

包装関連は、紙器、フィルムパッケージなどが減少しましたが、ペットボトル用無菌充填システムなどが増加し、前年を上回りました。

住空間マテリアル関連は、DNP独自のEB(Electron Beam)コーティング技術を活かした環境配慮製品などが増加し、前年を上回りました。

産業資材関連は、リチウムイオン電池用ソフトパックや太陽電池用封止材などのエネルギー関連部材が増加しましたが、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムが減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は1,273億円(前年同期比2.9%減)、営業利益は48億円(前年同期比43.5%減)となりました。

・エレクトロニクス部門

液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品が好調に推移したものの、液晶テレビの世界的な販売の伸び悩みから大型品の不振が続き、前年を下回りました。

電子デバイス関連は、半導体市場の厳しい状況が続くなか、モジュール製品やエッチング製品が増加したものの、フォトマスクが減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は427億円（前年同期比25.6%減）、営業損失は34億円（前年同期は2億円の営業損失）となりました。

【清涼飲料事業】

・清涼飲料部門

個人消費が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなかで、主力商品の「コカ・コーラ」「ジョージア」のほか、国内最軽量ボトル「e c oる ボトル しぼる」を使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」の販売拡大に努めました。

その結果、コーヒー飲料、ティー飲料が増加し、部門全体の売上高は117億円（前年同期比1.2%増）、営業損失は5億円（前年同期は2億円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ371億円減少し、1兆5,717億円となりました。

負債は、賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ237億円減少し、6,708億円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ133億円減少し、9,008億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.2%から54.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績見通しにつきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	217,518	207,707
受取手形及び売掛金	385,101	363,928
商品及び製品	91,912	95,707
仕掛品	39,356	37,738
原材料及び貯蔵品	19,850	20,817
その他	32,920	29,179
貸倒引当金	△3,703	△3,576
流動資産合計	782,956	751,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	213,514	211,328
機械装置及び運搬具(純額)	144,326	142,658
土地	142,149	142,041
建設仮勘定	35,410	38,812
その他(純額)	44,165	43,341
有形固定資産合計	579,566	578,183
無形固定資産		
その他	38,005	37,395
無形固定資産合計	38,005	37,395
投資その他の資産		
その他	213,421	209,836
貸倒引当金	△6,034	△6,012
投資その他の資産合計	207,387	203,824
固定資産合計	824,959	819,403
繰延資産	889	795
資産合計	1,608,806	1,571,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	276,353	275,407
短期借入金	51,809	46,004
賞与引当金	15,019	5,847
その他	99,996	96,636
流動負債合計	443,179	423,895
固定負債		
社債	153,060	152,835
長期借入金	19,147	18,452
退職給付引当金	33,229	31,369
その他	45,976	44,316
固定負債合計	251,413	246,973
負債合計	694,593	670,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	723,459	708,948
自己株式	△94,172	△94,169
株主資本合計	888,649	874,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,370	1,271
繰延ヘッジ損益	△14	4
為替換算調整勘定	△21,775	△18,476
その他の包括利益累計額合計	△17,420	△17,200
新株予約権	16	16
少数株主持分	42,967	43,875
純資産合計	914,213	900,832
負債純資産合計	1,608,806	1,571,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	370,309	352,949
売上原価	305,717	293,326
売上総利益	64,592	59,623
販売費及び一般管理費	57,165	57,066
営業利益	7,427	2,556
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,068	2,058
持分法による投資利益	—	56
その他	3,831	1,475
営業外収益合計	5,899	3,589
営業外費用		
支払利息	853	868
持分法による投資損失	600	—
その他	805	1,470
営業外費用合計	2,260	2,339
経常利益	11,067	3,807
特別利益		
固定資産売却益	19	63
退職給付制度改定益	30	—
その他	10	8
特別利益合計	59	72
特別損失		
固定資産除売却損	1,004	1,363
投資有価証券評価損	251	3,636
その他	590	272
特別損失合計	1,847	5,271
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,279	△1,392
法人税、住民税及び事業税	2,964	1,925
法人税等調整額	1,856	175
法人税等合計	4,821	2,101
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	4,457	△3,494
少数株主利益	83	717
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,374	△4,211

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	4,457	△3,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244	△3,213
繰延ヘッジ損益	16	19
為替換算調整勘定	2,225	3,483
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△4
その他の包括利益合計	2,486	284
四半期包括利益	6,944	△3,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,524	△3,991
少数株主に係る四半期包括利益	420	781

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	171,533	129,714	57,453	11,607	370,309	—	370,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,059	1,403	0	0	2,464	△2,464	—
計	172,593	131,118	57,453	11,607	372,773	△2,464	370,309
セグメント利益又は損失(△)	1,808	8,610	△229	△295	9,893	△2,466	7,427

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	176,269	122,167	42,766	11,746	352,949	—	352,949
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,312	5,150	0	0	6,463	△6,463	—
計	177,582	127,317	42,766	11,747	359,413	△6,463	352,949
セグメント利益又は損失(△)	3,757	4,863	△3,430	△529	4,659	△2,103	2,556

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成24年8月9日開催の取締役会決議に基づき、同日付で、三井物産株式会社との間で同社が保有する日本ユニシス株式会社（以下「日本ユニシス」）の普通株式の一部を譲り受ける旨の「株式譲渡契約書」を締結し、併せて、日本ユニシスとの間で「業務提携等に関する契約書」を締結いたしました。

なお、この株式取得により、日本ユニシスを当社の持分法適用関連会社とする予定です。

以 上